

病害虫防除所情報 第2号

令和5年8月1日
山梨県病害虫防除所

【ブドウ晩腐病に注意】

[発生状況及び今後の見通し]

1. 昨年、巨峰・ピオーネなどの黒系品種を中心に発生が見られた。
2. 5月下旬～6月上中旬の降水量が平年（103.3mm）に比べ231.5mmと多かったため、感染が助長されたと考えられる。
3. 発生時期がやや早く、本年は既に一部の早場産地で発病が見え始めている。今後の発病状況に注意し、以下の防除対策を徹底する。

[防除対策]

1. 着色始めの果粒で晩腐病が発病すると、紫色の染みのような変色が見られる（図1）。その後発病果粒から健全部に感染が広がり、さらに被害が拡大する（図2）ので、ほ場をよく見回り、早期発見に努める。
2. 発病果粒は二次感染源となるため、見つけ次第除去し、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
3. 降雨時は、感染リスクが高まるため、出来る限り摘粒作業は行わない。



図1 着色始めの発病果房



図2 収穫期の発病果房
(発病果粒は除去する)